

一般質問



とりのかい ゆい
鳥飼 由衣

議員
政治会



質問の様子は
こちら！

切れ目のない 出産支援について

Q パパママ学級の運営改善について伺う。

A パパママ学級につきましては、2か月に1回、講義と沐浴体験を午前中に開催しています。

対象者は、以前は妊娠前期と後期の方とを分けて実施しておりましたが、妊娠後期のほうが希望者が多く、出産や入院準備、産後の生活や育児に関する内容が、より具体的に理解が深まり、効果的な支援が行えることから、現在は妊娠後期の方を対象としています。

実施回数につきましては、市民の皆様からのご要望が多い日曜日実施を、来年度はさらに増やす予定としています。

また、会場へ足を運ぶことが難しい方にも参加いただけるよう、オンラインでの受講を可能としているほか、参加がかなわなかった方に対しましては、個々の状況に応じて訪問などで個別対応を行うなど、柔軟に取り組んでいます。

(健康福祉部長)

若年層に対する健診について

Q ヤングきんとき健診について、受診率の目標数値と向上策を伺う。

A 受診率につきましては、令和5年度が6.6%、令和6年度が7.1%、令和7年度は速報値で7.4%となっています。

本市の国民健康保険保健事業を推進するための実施計画である第3期データヘルス計画には、ヤングきんとき健診の具体的な目標数値は現在定めていませんが、近隣の他市町の数値なども参考として、来年度の見直しの際に、まずは10%程度を目標数値として設定することを考えています。

今後、受診券送付時に当該健診の重要性や受診方法をわかりやすく伝える工夫をするともに、若年層の利用率が高いLINE等のSNSを活用した情報発信を強化し、受診率の更なる向上を図っていきます。

(健康福祉部長)

質問の主な項目

- ・部活動の地域展開に伴う課題について



さいとう よしあき
斉藤 義明

議員
自民党市政会



質問の様子は
こちら！

防災対策について

Q 津波浸水エリア・水位、死傷者数の被害想定の見直し、ラインの被害想定について伺う。

A 香川県地域防災計画の改定を受け、県より示された津波浸水想定区域や最高津波水位などの地震・津波被害想定や、死傷者数、ライフライン等の人的・物的被害想定につきましても、速やかに本市地域防災計画に反映させていただきます。

また、最大クラスの南海トラフ地震における本市の発災直後のライフライン被害につきましては、上水道の断水率79%、下水道支障率95%、電力停電率92%、固定電話の不通回線率、携帯電話の停波基地局率とともに92%と非常に厳しい想定が出されています。

(副市長)

質問の主な項目

- ・市立病院について

公共交通について

Q 地域公共交通利便増進実施計画に対する市民や事業者・関係者の評価について伺う。

A 利用者からの反響が大きいものは、循環バス西ルートの、マルナカスーパーセンター宇多津店へのアクセスです。

また、「Ticket QR」の導入による市民割引は、一度利用した方が継続して利用する傾向が見られ、ほかにも高齢者の運転免許自主返納者向けのプリペイドチケットや、夏休み期間の「中高生サマーパス」も好評を得ています。

交通事業者からは「新たな取組が次々と進むことで地域公共交通の担い手としての意欲が高まっている」との評価が寄せられており、事業者の協力の下で取組をさらに推進できる体制が整ってきています。

なお、これらの取組を推進してきた本市を事務局とする坂出市地域公共交通活性化協議会が、交通関係優良団体として国土交通大臣表彰を受賞することが昨年12月8日に発表されるなど、国からも高い評価をいただいています。

(市長)